

令和4年 3月

■一般文学

「(読んだふりしたけど)ぶっちゃけよく分からん、あの名作小説を面白く読む方法」

・著:三宅 香帆

・出版社:笠間書院

この本の内容は…タイトルのとおりです。

読んでもよくわからない名作小説を面白く読む方法が二部構成で書かれています。前半は小説の読み方基礎講座、後半はオススメ名作小説を面白く読むコツのつかみ方です。

あなたは小説本を選ぶときは何で選びますか？タイトルやジャケットでなんとなく？いつも決まった著者の本しか読まないとか。そもそも、小説は読まない派ですか？

この本の著者が話しているように、実は、小説って読むコツをつかんでいないと面白くないですよ。小説を楽しく読むコツを若いうちから、がっつりつかんでいけば、面白いと思える小説がどんどん増えるということです。これってお得じゃないですか？もし、文学って敷居が高くって…とか思っている人は、ぜひ小説を読むコツをこの本から学んで、名作小説にチャレンジしてみてください。

(対象 一般)

■一般書

「細野晴臣と彼らの時代」

・著:門間 雄介

・出版社:文藝春秋

今をときめくミュージシャンの一人、星野源。彼が尊敬してやまないのが細野晴臣です。インストメンタルのバンドでデビューしたものの、歌うことに自信はありませんでしたが、細野に影響をされて歌うことになったのです。もし、細野の存在がなかったら、今の星野源はなかったかもしれません。

では、細野晴臣とはどんな人物だったのでしょうか。この本は細野のインタビュー、音楽活動をしてきた人々の証言により、細野の劇的な半生が描かれています。もしかしたら、あなたの知ってるミュージシャンの名前が出てくるかもしれません。

(対象 一般)

■児童書

「失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!」

・著:大野 正人

・出版社:文響社

天才だって失敗だらけ、いえいえ、天才こそ失敗だらけ。偉人たちの失敗と、その失敗からどのように立ち直り、偉業を成し遂げたのかを知ることができる本です。

偉人だって人間。失敗することも、ダメなところも、悩みもあって、それでも努力して、成功に辿りついたのだな、と勇気をもらえます。エジソンだって失敗王と呼ばれたことも。偉人の失敗が、おもしろいイラストと、ふりがな付きの文章で、読みやすく紹介されていて、こどもも大人も楽しく読んで、前向きになれる一冊です。

(対象 小学中学年から)

■絵本

「おとうふ2ちょう」

・作:くろだ かおる

・絵:たけがみ たえ

・出版社:ポプラ社

ケンちゃんは、お母さんから「しょうゆ、ごまあぶら、とうふ1ちょう」の、おつかいを頼まれました。

おつかいの帰り道、お母さんからケータイに電話が。「おとうふ、もう1ちょう買ってきて。」

早く友だちと遊びたいケンちゃんは、ちょっぴり“ウソ”をつきます。

その“ウソ”から始まった勘ちがいの連続に、思わず笑ってしまいます。でも最後は、ほっこり温かい気持ちに。ぜひ、親子で読んでみてください。

(対象 幼児から)